



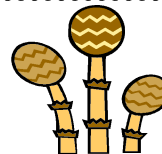
# 往生山だより

No. 50

文責 校長 酒井



## 今年度を振り返って!



来週からはよいよ3月、今年度もあとわずかとなりました。

今年度も教育目標「おお柳のように強靱で柔軟な心身共に逞しい児童」の実現に向かって、取り組んできました。具体的な内容は次の通りですが、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様のご協力を得ながら、我々教職員も子ども達一人一人と向き合い学びを進めることができました。

達成度を☆の数で表してみました。 ☆☆☆十分達成した ☆☆おおむね達成した ☆課題が残った

### 1 児童が伸び伸びと学べる学校 ☆☆☆

- ・児童の引渡し訓練の実施による家庭との連絡体制の確認
- ・関係機関との連携（安全指導員・見守り隊・駐在所）
- ・防犯カメラの設置（交通安全母の会より提供）
- ・全児童による防犯ブザーの携帯（交通安全母の会より提供）
- ・安心安全メールの全家庭の加入と活用

### 2 確かな基礎学力・体力の向上 ☆☆☆

- ・算数科を中心としたTTの授業（6・4・2年）
- ・専門性を生かした深い学び（体育・図工・音楽）
- ・「入小っ子読書の日」の設定と実施
- ・始業前や昼休み、放課後の運動の奨励
- ・決められた方法による集団登校の実施
- ・学校から、決められた場所までの一斉徒歩下校（30回程度）

### 3 思いやりのある行動、基本的な生活習慣 ☆☆☆

- ・縦割りを中心とした異学年交流（行事・児童会・児童会）
- ・決められた方法や一斉徒歩下校による交流
- ・早寝、早起き、朝ご飯の励行
- ・個の実態に応じた完食を目指す給食指導

### 4 自ら行動する態度の育成(自主・自律・自治) ☆

- ・よいことは進んで行おうとする態度の育成
- ・児童によるプール清掃（自分たちの事は自分たちで）
- ・代表委員会・委員会活動等の自治的諸活動の実践

### 5 地域を生かした運営の充実 ☆☆☆

- ・ふるさとの「人・もの・こと」にこだわった授業。
- ・生活科や総合的な学習の時間を主とした体験活動の充実。
- ・学校評議員の積極的な活用（3名から5名へ）
- ・「いりとおっ子デー」の実施（中学校、地域との連携）

以上の取り組みを通して、多くの成果が認められました。

特に、今年度強く励行してきた徒歩による登下校や縦割り班活動、地域学習を通して子ども達の学力や体力だけでなく、心も大きく成長したと感じています。

サッカーのゲームに例えるなら、ゴールすることだけが目的ではなく、ゴールまでにどんなパスを出して、どうドリブルをしたか？コーチや監督は選手にどんな指導や言葉かけをしたかが大切となります。途中多くのミス（失敗）もあったでしょう。しかし、その過程が子ども達を、我々教員を成長させました。保護者の皆様や地域の皆様にご協力をいただきながら、「おお柳のように強靱で柔軟な心身共に逞しい児童」を目指すことができましたこと、改めて感謝申し上げます。

3学期もあとわずかですが、児童の主体性を高める事やゲームやスマホの適切な使用については、反省も残りましたので、課題として引き続き取り組んでいきたいと思っております。

